

ホップ♪ ステップ♪ のとがわ

能登川地区まちづくり協議会

せつやくしてるよ
(1年女子)



滋賀県東近江市立
能登川北小学校から
応援メッセージを送ります!!



つらいけど勇気を出してが
んばってください。多分ほ
うが思っているよりつら
いと思います。でもほくた
ちは応えんしています。
(6年男子)

今、大変なことがあちこち
でおこっています。わたし
はほ金やおうえんしかでき
ないけどがんばってください
い。(女子)



被災された方々へ
大丈夫ですか? わたしは津波や地震はテレビでしか見たこ
とがありません。すこし地震が来ただけで、そんなにひど
くありませんでした。テレビで見たときとてもとてもビック
リしました。わたしたちはぶじに始業式とかをできたし、
とても元気です。悲しいこともあった方々いると思います。
けどみなさんも明るく元気になってください。元気で明る
くふるまったら周りも明るくなると思います。いつまでも
元気でいてください。(6年女子)

児童一人ひとりが書いたメッセージを貼り付けた台紙 (サイズは 84×119 cm)



能登川駅前募金活動

義援金ありがとうございました

東日本大震災被災者へ 応援メッセージを送る

能登川地区まちづくり協議会では、震災後すぐに
能登川地区の小学校に「応援メッセージ」の作成
を呼びかけ、でき上がったものを被災地に届けま
した。

NO. 25

このたびは東北関東大震災
被災者支援のため募金活動
をされていただいております
能登川地区まちづくり協議会
+ 能登川赤十字奉仕団

能登川赤十字奉仕団で東日本大震災被災者支援のため
義援金を募りましたところ、5,958,676円 (4月23日現
在) と多額の温かい善意をお寄せいただき、日本赤十
字社滋賀県支部へ送金しました。

発行: 能登川地区まちづくり協議会 発行日: 平成 23 年 5 月 20 日
〒521-1292 東近江市跡光寺町262番地 東近江市能登川支所別館内
IP 電話 0505-802-2793 (平日午前中) FAX: 0505-802-2793
E-mail: notomatikyo@e-omi.ne.jp
<http://members.e-omi.ne.jp/notomatikyo/>

「愛知川河畔林の会」の 美化活動にぜひ参加を!!

愛知川河畔林とは、愛知川の下流域約9 kmに広がる竹林で、多くの貴重な動植物の生息地ですが、近年では管理不足によって枯れた竹が多く残され、不法投棄の温床となっている場所もあります。

そこで、平成17年に行政と住民が協働で「愛知川河畔林の会」を発足させ、月2回の定例活動と年2回のイベントを行い良好な竹林環境の維持管理を行っています。しかし、現在の参加人数は20名程度で広範囲の河畔林の整備を行うには圧倒的に不足しています。

自然環境の良好な保全および洪水災害のない安全・安心の愛知川流域を市民ひとりひとりの参加で実現していきましょう。活動日程等の詳細は下記までお気軽にお問い合わせください。

■問い合わせ先 〒527-8511 東近江市八日市緑町7-23

滋賀県東近江土木事務所 河川砂防課「愛知川河畔林の会」事務局

TEL 0748-22-7746 FAX 0748-23-4163

HP http://www.pref.shiga.jp/h/y-doboku/kasensabo/kasen/echigawa/echigawa_kaisyu.html



作業中



整備前



整備完了



愛知川河畔清掃

3月27日(日)、八幡橋上流域(消防学校の北側の位置)を重点作業域にして、ゴミの回収作業をしました。

今回は、三井住友建設(株)能登川PC工場を集合地として借用しました。坂本工場長さんをはじめ多くの従業員の方々も参加してくださいました。急変する天候のなか、ボランティア活動に参加して下さった皆さん、本当にありがとうございました。

■主催 能登川地区まちづくり協議会 ■共催 能登川環境ボランティアの会

■参加者 約50名 ■回収したゴミの量 約1.7トン



認知症とみんなであらう

第11話

認知症予防と 早期発見の場所づくり

体のいたるところが老化によって今までできていたことができなくなりま

す。特に、「体の機能を使わ

ない」と老化スピードが

速まります。

体を横にすると楽です

ね。でもこの楽なことが

機能は何も使わないこと

なのです。「座るよりは

立つ」「立つよりは歩く」

と私たちが嫌なことこそ

体のためになり、ひいて

は老化を少しでも遅らせ

ます。また、家において好

き気ままにしていると気

を使わず感性が落ちてき



■お問い合わせ・お申込み NPO ほほえみ事務局

IP/FAX 0505-802-5094
携 帯 090-1674-5512

※住所、氏名、電話番号を
明記の上 FAXかハガキ
でお申し込みください。

■記事に関するお問い合わせ 認知症キャラバン・メイト IP 0505-802-5094

学童保育所 こどもの家だより

能登川西こどもの家



今年もぴかぴかの一年生が学童に入ってきました。男の子も女の子も仲良く元気です。みんなで並んで鉄棒でハイ！ポーズ！

能登川南こどもの家



学校から帰って、おやつと宿題を済ませたら、運動場に飛び出します。エネルギーが有り余っている子ども達です。

第15回 無垢な魅力 能登川を歩くハイキング

きぬがさ

織山からの眺望と 湖国の奇祭・伊庭の坂下し祭

5月4日(祝)、ハイキングを開催し、市内外から約180名の参加がありました。織山からの眺望は少し霞んでいましたが、の魅力を堪能していただきました。



■主催：東近江市商工会能登川支部女性部いきいき事業研究会

近江だるまを存じますか？

大正時代に寺井大門氏（現 佐野町）により生まれた「近江だるま」。戦前は国内はもとより、戦勝祈願として大陸にも送られました。戦後、息子の清二氏により復活し、全国のだるま愛好家よりユーモラスな特徴で好評を得ていました。

昭和60年「能登川のむかし話」で近江だるまの存在を知り、寺井家を訪ねてみると、清二氏が不慮の事故で製作できない状態になられていることを知りました。なんとか復活したいと考え、寺井家の奥様から作り方を習い、手探りで「近江だるま」を完成することが出来ました。

平成9年、「近江だるま保存会」が発足し、現在は、50代から70代の12名のメンバーが、求めに応じて、楽しみながらマイペースで製作しています。

毎月第一木曜日午前、能登川博物館で製作研修会を開いています。また、能登川コミュニティセンターや能登川南小学校の子どもたち、能登川地区の長寿会などで作り方を教えています。

■お問合せ 近江だるま保存会
代表：谷村昭仁 Tel090-3494-3180



最近では種類も増え、バラエティ豊かになりました。
写真の上中央は、近江だるまの代表「男だるま」。

歴史点描 ⑥

市史編纂室だより

『東近江市史 能登川の歴史』

第1巻 原始・古代編 販売開始！

『東近江市史 能登川の歴史』第1巻 原始・古代編の発行を記念して、4月16日(出)、やわらぎホールで刊行記念行事を開催し、200名の参加がありました。予約購入者のみなさんや、関係のかたがたのお手元に順次お届けしています。

内容的には、昭和50年代から継続して実施されてきた発掘調査成果が、ふんだんに盛り込まれています。縄文時代・弥生時代・古墳時代、どの時代にも滋賀県を代表する遺跡が、能登川地区にあったことがわかります。



▲『東近江市史 能登川の歴史』第1巻 原始・古代編

市内の図書館、市史編纂室（埋蔵文化財センター内、能登川図書館・博物館南隣）でも、お手にとってご覧いただけます。ご検討のうえ、ご購入いただければ幸いです。

■今後の刊行予定

平成24年4月	第4巻	資料編
平成25年4月	第2巻	中・近世編
平成26年4月	第3巻	近・現代編
平成27年4月	ダイジェスト版	

■お問合せ

市史編纂室（東近江市埋蔵文化財センター内、山路町2225）
電話：0505-801-5011 または 42-5031

